A 元化は必要と考える。

ならぬよう注視する 町民負担に



浅野富男議員

のは税算定には用いて う形になる。 道府県が担うことにな 算定はどのようになさ について県が責任を負 町民の健康と医療 民健康保険は都 今年度から国 料率そのも 国保税の 標準保険 算定も、 度改革により、 いない。 ただ、

より導かれる。 額が必要保険税総額と される分を差し引いた 特定健診等の費用を足 険料率の算定も税率の なる。よって、 める国保事業納付金に し、その他公費で措置 同じ考え方に 標準保

課保 健福 長祉

れるか。

思うが、町への影響は。 されるのではないかと 大きな眼目として指導 町民負担軽減策などが なった。自治体独自の 営方針を定めることと 期とした国保運 県は6年を

町長

間の支援について」と の「総合的な学習の時

定はない。

標準化などの運営方針 正化、 県及び市町村国保特別 な実施、 の標準的算定の考え 療費の適正化、保険料 会計の財政運営や、医 健康保険運営方針」は、 策定した「福島県国民 保険料の徴収の適 保険給付の適正 市町村事務の 昨年11月に

> ゆる赤字の保険者を除 らの法定外繰入、いわ 市町村とされているた では保険料率の決定は 市町村一般会計か 特に影響はない。

あるが、このことにつ 保険料を目指す方針で いての町の考えは。 問 度を目標に統 人口減少によ

料の枠については、実 ことから、県で一元化 ばならないものである る。住民の健康や安心・ 医療費は増加してい ると考える。統一保険 を図ることは必要であ 定的に維持されなけれ 保険は将来にわたり安 いるが、一人当たりの 加入者は年々減少して 安全を守る上で国民皆 り国民健康保険

福島県で

県に納

国保制

対応していきたい。

する対応は 時間の支援に関 総合的な学習の

県は平成36年 内と県教育委員会作成 極の氷体験校募集」案 方協力本部作成の「南 ついて、自衛隊福島地 問 の時間の支援に 総合的な学習

のか。 うな対応をとる あたると考える る教育の介入に 市町村の教育長 会としてどのよ が、町教育委員 た。自衛隊によ 宛てに配布され いう依頼文書が

は、 用した総合的 依 南極氷を使 頼 0) 目的

があることから、

町民

負担にならないよ

現までには様々な課題

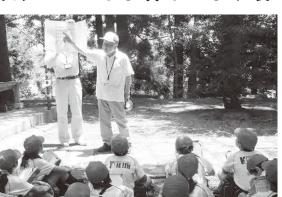
を定めている。

現段階

う、

今後の動きを注視

町内の学校での応募予 校へ配付した。 依頼に基づき、小中学 して、県教育委員会の 頼を受けたと判断して る学校もあると考え依 解と認識を深めること 育成に寄与するととも 施し、小中学生の健全 学習の時間の支援を実 いる。町教育委員会と が自然体験を必要とす である。 県教育委員会 に、自衛隊に対する理



総合学習のようす

雲仙市議会の皆さんとの懇談のようす

人口増加への取り組みを学ぶ

子を視察しました。

1日目は、長崎県内で唯 一人口が増え続けている大村市へ、人口増加の理由や施策を学んできました。 長崎県のほぼ中央に位置 ちる大村市は、人口約9万 6千人で、現在までの約40 年間で約3万4千人が増加 しています。

す。 て、大きく3点挙げられま 人口増加の主な要因とし

1点目は、自然の豊かさ

した 大村市役所で詳しい説明を受けま

> があることです。 り組んできた街のイメージ ど、他自治体に先行して取 普及や子育て環境の充実な ました。3点目は、下水道 ベッドタウンともなってい が安いことで、近隣市の 2点目は、土地や賃貸物件 自然の遊び場が豊富です。 実し、買い物がしやすく、 ます。また、医療機関が充 や高速道路も整備されてい で行くことができ、新幹線 良く、長崎空港から約15分 村市は、交通のアクセスが く整っていることです。大 みやすい条件がバランスよ と都会の便利さがあり、

支援では、2人目以降の子取り組んでいます。子育て配ぐり、人口10万人に向けに絞り、人口10万人に向けにがり、人口10万人に向けるが、

と思いました。と思いました。と思いました。

た。現在は合併され雲仙市へ表敬訪問をいたしまして日目は、長崎県雲仙市

垣が崩れ手が付 までが傾き、石 ました。天守閣 熊本城を視察し 昨年の熊本地震 と思います。 本当に良かった ることができ、 めてお礼を伝え いりました。改 況を報告してま の復旧・復興状 礼と現在の当町 たため、そのお も義援金を頂 日本大震災時に 町とは以前から となった旧 で被害にあった 交流があり、 3日目は、 玉 東

す。 ことを目の当たりにしま たことを目の当たりにしま

けられないまま

発者 阿部泰藏)